

## 平成25年度3月定例会

## 一般質問

- ・3月定例会の一般質問は、さる3月15日、7人の議員が行いました。
- ・その質問要旨は次のとおりです。



渡部 勇議員

- ①町内での高齢者向け住



幸本 元議員

- ①米子自動車道の四車線化の早期実現について。

- ②極小微粒子物質（PM2.5）への対応について。
- ③商工観光行政のあり方について。

- ⑤日光及び二部地区的公民館の「改築」の考え方について。

- ⑥「八郷地区公民館」の新設について。

- ⑥公会計などを導入した討について。



細田 栄議員

- ①保育所の入所は、希望どおり入所できるのか。

- ②添谷の発電所を取得して整備するというその目的について。
- ③集落公民館の補助率のカサ上げについて。

- ③健康ポイント制度の引き換え場所の増設と利用商店の拡大について。

- ①イノシシの捕獲枠の大の必要性について。
- ②イノシシやシカの捕獲奨励金、一頭一万円は、食肉用転売でも支給対象となるのか。

- ①「放射線量測定値」の公表回数の増加などについて。
- ②「水道水の放射能測定」を実施することについて。
- ③合併十周年の記念事業の実施について。

- ④「町の歌」の制定について。

- ⑤日光及び二部地区的公民館の「改築」の考え方について。

- ④食肉加工後の付加価値をつけるための単独補助制度の新設について。

- ②小規模農家に農機具購入の支援策をとることについて。

- ③有線テレビの画質の向上対策について。

- ③健康ポイント制度の引き換え場所の増設と利用商店の拡大について。

- ⑧溝口地区に中間所得者や若年層の定住対策としての公営住宅建設の考えについて。

- ⑧民間の住宅物件と定住しようとする場合の補助制度について。

- ⑥町の貯金を活用し、町民の暮らしに使うことについて。



篠原 天議員

- ⑦「写真美術館」の今後の運営方針について。
- ⑧町内外に向かって、伯耆町の「顔の見える町政」の展開について。

- ⑦「写真美術館」の今後の運営方針について。
- ⑧町内外に向かって、伯耆町の「顔の見える町政」の展開について。

- ⑦わが町に資本投下しようとする企業から選ばれる自治体とするには、公会計化は、不可避ではないのか。

- ④生活保護制度の基準が見直されることについて。
- ⑤写真美術館の運営について町民アンケートを行い、植田サイドと運営方法などを協議することについて。



勝部俊徳議員

- ①イノシシの捕獲枠の大の必要性について。
- ②イノシシやシカの捕獲奨励金、一頭一万円は、食肉用転売でも支給対象となるのか。

- ⑩大規模災害で町内外からの避難世帯の町内での受け入れ体制について。

- ⑥町の貯金を活用し、町民の暮らしに使うことについて。

- ①少子高齢化、介護問題、独居高齢者、空き家など地域の問題との向き合い方などについて。

- ②町職員の給与カットとその給与水準のあり方にについて。



福田千富美議員

- ①職員の給与削減の延長をとりやめる考えはないか。

- ①少子高齢化、介護問題、独居高齢者、空き家など地域の問題との向き合い方などについて。
- ②町職員の給与カットとその給与水準のあり方にについて。



大森英一議員

- ③TPPの交渉参加の中止を求めることについて。
- ④町長の見解は。

- ③TPPの交渉参加の中止を求めることについて。
- ④生活保護制度の基準が見直されることについて。

- ③TPPの交渉参加の中止を求めることについて。
- ④町長の見解は。